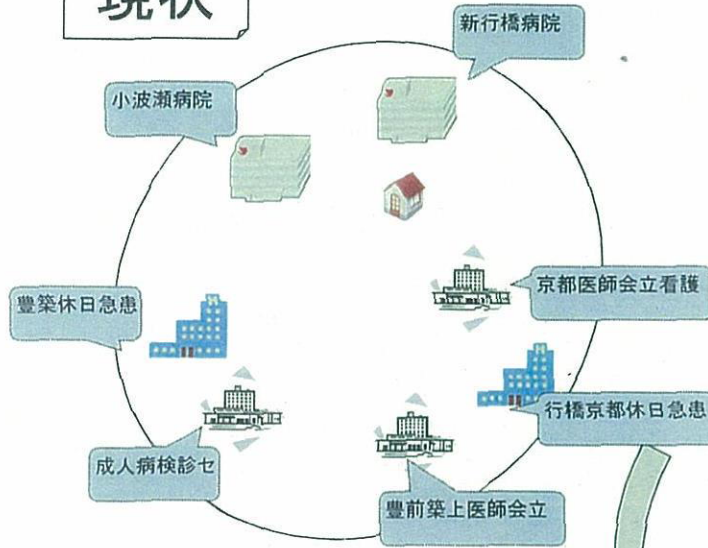


福岡県地域医療再生計画概要(京築保健医療圏)

現状



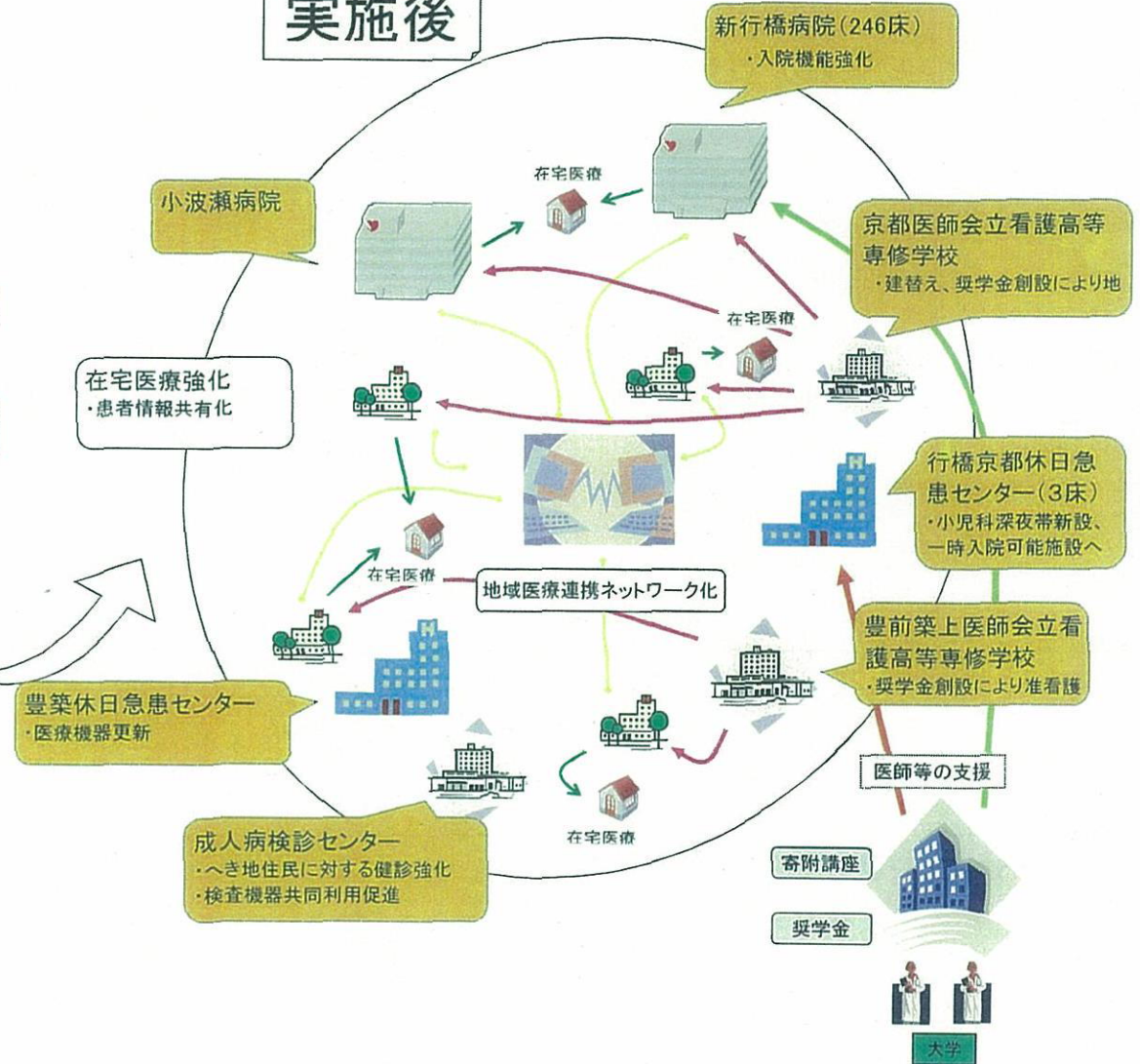
課題

- 地域の医療資源が不足している。
- 救急医療体制が手薄。
- 人材(准看護師等)が他地区への流出している。

方策

- 休日急患センターの強化
- 地域医療連携ネットワーク構築による連携体制強化
- 在宅医療の強化
- 奨学金制度による准看護師確保
- 大学医学部寄附講座による医師派遣(全県事業)

実施後



県全体事業【佐賀大学における寄附講座の開設① 総合内科医・小児救急医の育成】

地域医療機関に総合内科医充足



専門医取得

総合内科
専門医

5th yr

腫瘍研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)血液内科 2日

当直

4th yr

糖尿病研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)糖尿病内科 2日

当直

小児救急医充足

地域医療支援センター

- ・空床管理システムの開発と展開(病院内→病院間→移動中の救急車等)
- ・遠隔診断支援システムの導入
- ・診療録地域連携システムの活用



- ・指導医派遣
- ・大学での研修・手術
- ・研修中の代医派遣
- ・診療録地域連携システムによるサポート
- ・遠隔カンファレンスによるサポート
- ・eラーニングとポートフォリオによるキャリアサポート

大学から派遣中の医師

小児救急研修

救命救急センター

地域医療支援センター



助教

3rd yr

神経研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)神経内科 2日

当直

コース修了生の地域定着義務化

内視鏡研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)消化器内科 2日

当直

- ・研修医の収入保証
- ・地域医療機関の
人件費低減

1st yr

循環器研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)循環器内科 2日

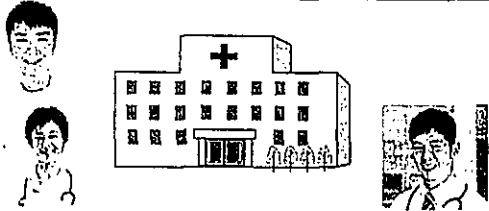
当直

2nd yr

専門医取得支援体制の強化

県全体事業【佐賀大学における寄附講座の開設② 不足分野医師の育成】

不足分野医師の充足



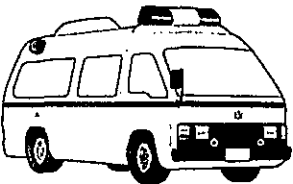
- 脳神経外科
- 産婦人科
- 外科
- 麻酔科

5年後基金により各2名
専門医確保

産科研修 当直

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)産婦人科 2日

年1名2年間4年コース

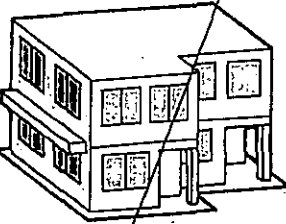


救急のバックアップ診療科確保

不足分野専門医

専門医取得

コース修了生の地域定着義務化



麻酔科研修 当直

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)麻酔科 2日
- ・研修医の収入保証
- ・地域医療機関の人件費低減

年1名2年間4年コース

外科研修 当直

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)一般消化器外科 2日

年1名2年間4年コース

地域医療支援センター

大学病院

地域医療支援学講座 (寄附講座)

助教

脳神経外科研修 当直

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)脳神経外科 2日

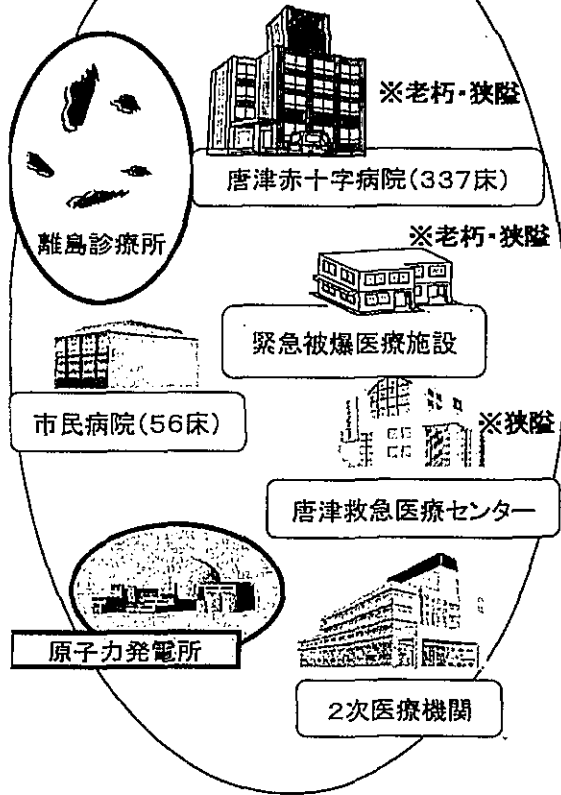
年1名2年間4年コース

北部医療圏【救急・周産期・小児医療の充実】

現状

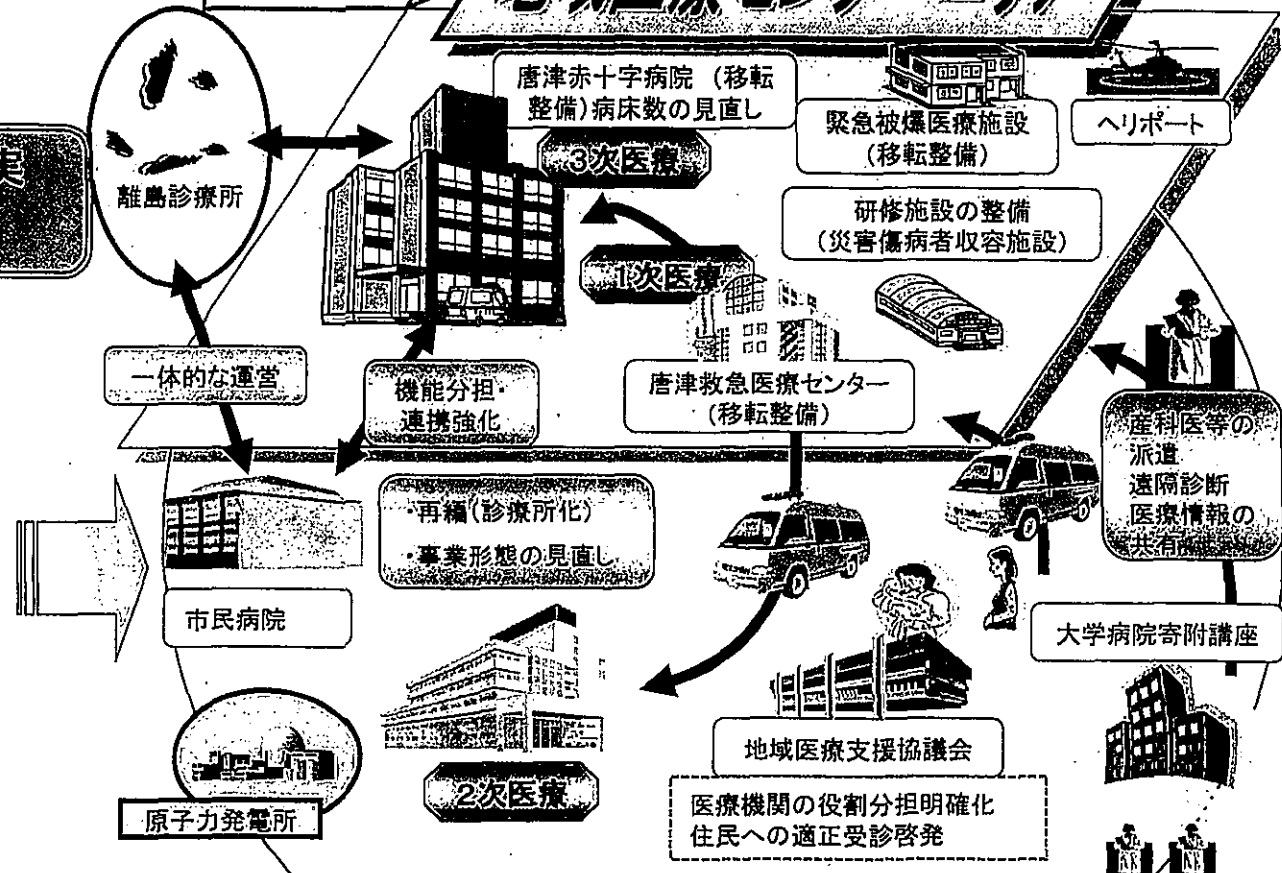
課題

救急・周産期・小児医療の充実
医療従事者の養成・確保



実施後

地域医療センターエリア



将来にわたり持続可能で安定した医療体制！！

- ◆唐津赤十字病院を核とした地域医療センターエリア形成。
- ◆エリア内で1次医療、3次医療、災害医療に対応。
- ◆市民病院を再編し、離島診療所まで一体的に運営。

【救急医療の充実、医療機関の統合・再編】（西部医療圏）

現状

課題

- ・拠点となる病院がなく、救急医療等において圏域外の医療機関への依存度が高い。
- ・医療従事者等医療資源の分散化
- ・圏域内の医療機関の役割分担

実施後

- ◆伊万里有田統合病院の医療体制の充実・強化
 - ・ドクターヘリ離発着施設整備
 - ・検診センターの整備
 - ・災害拠点病院としての設備の充実
- ◆休日夜間急患センターの移転・整備
- ◆圏域内医療機関の役割の明確化
- ◆救急医療情報システムの整備
- ◆医療従事者確保対策
- ◆病床削減

